



# 親子でチャレンジ2018



1日目：科学工作・理科実験  
偏光板の特性を、親子で調べました。



2日目：芸術にチャレンジ  
藍染めで、自分だけのトートバッグを作りました。



3日目：福祉体験  
歌詞に合わせて、手話を使えるように習いました。

本校では、毎年夏休みに3日間、小学生の親子を対象として様々な体験ができる講座を開講しています。今年度は8/1～3に、10組22名の親子の皆さんに受講していただきました。

1日目は、科学工作・理科実験にチャレンジ。生活の中の理科実験と題し、3つの実験を身の回りにあるものを使った実験を行いました。科学工作では、ブーメランを作製して飛ばしました。また、偏光板を使った不思議な箱を作りました。

2日目は、芸術にチャレンジ。美術部の生徒たちの手伝いを受けながら、藍染めのトートバッグを作りました。

3日目は、福祉教養科の生徒たちが先生役を務めて、聴覚障害や視覚障害の体験をしました。また、白杖を使っている方の介助の仕方を親子で学びました。

来年も実施しますので、皆さんのご参加をお待ちしています。

<参加者の感想>

- 普段できない実験ができて楽しかったし、家でもできるような実験だったのでやってみようと思います。
- 染物もかわいい物ができてうれしかった。
- 体に何か障がいを持つ人のつらさがわかりました。その人たちにあったら助けてあげられるようにしたいです。
- 福祉体験は、学生さんが一生懸命に教えてくださり、とても貴重な体験をさせていただきました。
- この3日間ためになる3日間で来年行きたいと思いました。



理科実験



科学工作



美術 藍染め



福祉 白杖体験